



令和7年度 学校だより特別号 学力向上

令和7年10月吉日
狭山市立山王小学校

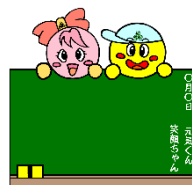
児童の学力や学習状況を把握・分析し、児童への教育指導の充実と学習状況の改善に役立てるために、文部科学省と埼玉県による学力・学習状況調査が実施されました。本年度の本校の結果の概要についてお知らせいたします。各個人の結果については、担任より9月に各家庭へ返却済みです。お時間のある時に、個人票を見直し、復習シート等を活用しながら学力の定着に努めていただければと思います。

1 全国学力・学習状況調査

○調査日 令和7年4月17日(木) ○調査学年 小学6年生・中学3年生

○調査内容 国語・算数科に関する調査・質問紙調査

○学力の結果



<平均正答率による比較(%)>

国語	全国(公立)	67.7
	埼玉県(公立)	69
	山王小	64

算数	全国(公立)	63.4
	埼玉県(公立)	64
	山王小	62

☆本校の結果について

全国平均、埼玉県平均と比較すると、国語・算数共に平均を下回る結果となりました。

国語…◎情報の扱い方に関する事項(図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う)

◎わが組の言語文化に関する事項(言葉の違いに気づく)

△読むこと(文章全体の構成を捉えて要旨を把握する等)

△記述式の問題

算数…◎図形(条件の合う図形を選ぶ、角の大きさ等)

△変化と関係(伴って変わる二つの数量の関係について答える問題等)



☆質問紙の結果について

◎「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに関して、ほぼ全員が「はい」と答えており、全国・埼玉県平均共に上回っています。

△一日当たりの読書時間が、全国や県平均に比べ、少ない傾向にあります。…全くしない～10分より少ない(56%)

2 埼玉県学力・学習状況調査

○調査日 令和7年5月13日(火)14日(水)15日(木)

○小学校4年生～中学校3年生

○調査の特徴 従来の「学習の内容がどれくらい身につけているか」という視点に加えて「一人一人の学力がどれだけ伸びているか」という視点が加えられています。昨年度からCBT調査(タブレットを使用したテスト形式)になりました。9月、各家庭に返却させていただいた個人結果票には、県の平均と比較して時間をかけている領域や問題もわかる様になっています。

表1-1 平均正答率による比較(%)

国語	4年	5年	6年
埼玉県	52.5	62.8	59.3
山王小	46.7	57.6	52.0

算数	4年	5年	6年
埼玉県	66.2	48.3	52.4
山王小	58.7	43.2	41.9

表1-2 学力の伸びによる比較

5年 国語		4年	5年
埼玉県	学力レベル	5-B	6-B
	学力の伸び	/	
山王小	学力レベル		
	学力の伸び	/	
			2

5年 算数		4年	5年
埼玉県	学力レベル	4-A	5-B
	学力の伸び	/	
山王小	学力レベル		
	学力の伸び	/	
			2

6年国語		4年	5年	6年
埼玉県	学力レベル	6-C	6-B	7-C
	学力の伸び		1	2
山王小	学力レベル	5-A	6-C	6-B
	学力の伸び		1	1

6年算数		4年	5年	6年
埼玉県	学力レベル	5-C	5-B	6-C
	学力の伸び		1	2
山王小	学力レベル	5-C	5-C	5-B
	学力の伸び		0	1

※学力レベルとは…本調査で測定できる学力の範囲を、一定の間隔で分割して表したものです。

本校の今年度の学力レベルは、5・6年共に伸びています。子供たちの努力が結果として現れていることが分かります。この伸びを子供たちの自信につなげていければと思います。山王小の解答結果から分析すると、各学年、以下のような強みと弱みがみられました。

○学力の結果からの考察(強み…正答率が県平均より特に高いもの、弱み…正答率が県平均より特に低いもの)

4年生	国語	強み	・言葉の特徴や使い方(接続語、対義語など) ・地図と案内文の読み取り
		弱み	・正しい国語辞典の使い方 ・自分の考えを明確に書く
	算数	強み	・棒グラフの読み取り ・角の大きさ ・一万より大きい数
		弱み	・短い経路の選び方と道のりの計算を使って言葉で説明する ・わり算を用いる場面の計算
5年生	国語	強み	・段落相互の関係に注目して文章の内容を捉える ・修飾・被修飾の関係を理解する
		弱み	・熟語や文の構成を理解すること ・文章の内容の理解
	算数	強み	・繰り上がりのある小数の加法の計算 ・式を用いて変化の関係をとらえる
		弱み	・直線の垂直の関係 ・伴って変わる2つの数量の関係をグラフに表す
6年生	国語	強み	・熟語の構成 ・慣用句の意味
		弱み	・辞書の使い方 ・敬語の使い方 ・根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く
	算数	強み	・単位量当たりの大きさ ・円グラフの読み取り
		弱み	・分数の減法 ・最小公倍数の意味 ・基準量と比較量から割合を求める

○質問紙調査の結果からの考察

例年に続き、時間に対する意識がとても高いという結果が出ています。実際に、休み時間の終わり時刻や授業開始時刻がよく守られています。「学習準備」への意識も高くなっています。「ていねいな言葉づかいを身につける」事への意識も高く、すばらしいです。一方、「整理整頓」に関しての意識が低い傾向にあります。

また、「将来の夢や目標をもっていますか」という質問に対して「持っている・どちらかといえば持っている」と答えた児童が多く見られました。

<今後の取り組みについて>

- ・学習面の強みにおいては更に学力向上を図り、弱みに関しては、関連単元の中で授業の展開を工夫していきます。
- ・昨年度からの校内課題研究である「主体的・探究的に学ぶ児童の育成～個別最適な学びの実現を目指して～」の成果を学習指導でも生かし、個々の学力の伸長も図っていききたいと思います。
- ・読書の推進…各学年の実態に合わせて、宿題や自主学習等にも時々読書を取り入れていきたいと思っています。
(読書が好きな児童生徒ほど各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られます。)
- ・整理整頓することの良さを講話集会等でも話題に取り上げ、全校に広げて習慣化できる様にしていきます。
- ・道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進していきます。

<<家庭で一人一人の力を伸ばすために>>

- ①お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」を把握することが大切です。
- ②一人一人のお子さんに合った「目標設定」が重要です。
- ③「家庭学習の習慣化」が必要です。埼玉県のホームページから本調査の「復習シート」をダウンロードすることができます。ぜひ、ご活用ください。



埼玉県学力・学習状況調査 復習シート

検索

「学校・家庭・地域」で連携を図り、大人たちが一人一人の子供たちのよさを引き出していけるよう、今後ともご支援ご協力をお願いします。

